



学校教育目標 社会に貢献しながら、
自立する生徒の育成
～気づき、考え、実行する～

やまゆり

校訓 「和の心」

指導重点

- ① 居心地がよく、やる気のある
学級集団・学校づくり
- ② 確かな学力の育成
- ③ 豊かな心の育成
- ④ 健やかな身体の育成
- ⑤ 特別支援教育の推進
- ⑥ 生徒の良さを伸ばし、課題を解決するための
「連携・協働」の推進

若鮎祭が終わり、 本格的に〇〇〇だ！

第51回若鮎祭(文化の部)が終わりました。今年度のスローガンは『Empower』でした。生徒会や3年生を中心に、生徒たちはよく頑張りました。それぞれの学年や全校で、一致団結し燃焼できました。真剣な表情やまなざしを多くの場面で感じることができました。若鮎祭を終えた今、その成果と課題を明らかにして、新たな取組を始めようとしています。

さあ“若鮎祭が終わり、本格的に〇〇〇だ！”と気持ちを切り替えて、新たな〇〇〇に挑戦です。



自分の特性と進路を考えよう！

さて、若鮎祭の取組が終われば、今年度も後半戦に突入します。本格的に勉強や部活動(=〇〇〇)に集中して、取組開始です。

特に、3年生は部活動も終了し、いよいよ進路を決定していく時期です。第1回教育課程到達度確認検査(教達検)を控えて、これまでの学習内容の復習を中心に、学習を進めていることでしょう。この検査は、進学を希望する生徒の皆さんにとって、高校選択の目安にもなります。

今は、自分の意志や希望が尊重され“入れる高校より、行きたい高校”を選ぶ時代です。つまり“合格可能な高校より、自分が望む進学したい高校”を重視するということです。

ただ、現実的には、選抜検査が依然として存在しており、その行きたい高校(自分が望む進学したい高校)に見合う学力や実績・能力等が要求されています。



山梨県の公立高校入試制度も、時代とともに変革されてきました。学区制の廃止により、全県一区となり、高校選択の幅は広がり、少子化による定員の削減や高校の統廃合、通信制高校の充実等、様々な動向に注視する必要があります。

そこで、ご家庭ではどの高校に進学したいか、じっくり話し合いをしてください。それと並行して、どの高校を選ぶにしても、勉強を地道に続けていくことが肝心です。

さらに、1・2年生も、自分の長所や短所を知ることによって自己理解を深めましょう。具体的な取組として、職業や高校調べ等を通して“将来の夢を明確な目標に”して、日々の生活につなげることです。合わせて学習方法の改善にも取り組んでください。

一方、部活動では、新人大会があります。これまでの練習の成果が試されます。勉強と並行して、部活動でも力を発揮してください。どうぞ、保護者の皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。



第51回若鮎祭

道志中 七里太鼓

